

# 給水装置工事の手引き

平成26年4月1日  
阿賀野市上下水道局

## 目 次

水道加入金及び工事検査手数料等について	(1)
給水装置工事申請事項について	(2)
製 図	
基 本 事 項	(3)
製 図	(3)
位 置 図	(3)
止水栓・量水器位置図	(3)
平 面 図	(3)
立 面 図	(4)
給 水 用 具 名	(5)
変更工事における撤去図の記載方法	(5)
給 水 装 置 記 号	(5)
製 図 要 領 例	(9)
仕切弁設置標準図	(11)
標準的な分水取出し配管図	(12)
配 管 材 料	(13)
指定給水器具製造メーカー一覧	(13)

### 《各種申請資料》

給水装置台帳	(CD ファイルで添付)
給水装置台帳提出の詳細事項について	(CD ファイルで添付)

各 種 申 請 書	(CD ファイルで添付)
-----------	--------------

<u>・水道メーターの減径申請</u>	<u>・給水装置工事変更申請</u>
<u>・給水装置の撤去申請</u>	<u>・給水装置工事取消申請</u>
<u>・給水装置の撤去工事完了のお知らせ</u>	<u>・3階直結給水協議書</u>
<u>・給水装置工事の工期変更の届出書</u>	<u>・道路工事施行承認申請書</u>
<u>・既設設備の再使用の確認書</u>	<u>・道路占用協議書</u>
<u>・水道加入金還付申請</u>	<u>・確約書</u>
<u>・検査手数料還付申請</u>	<u>・念書（分岐・土地使用）</u>
<u>・一部先行工事、簡易給水装置工事申込書</u>	
<u>・給水装置工事の工期変更に伴う（分岐・土地使用）承諾書届</u>	

## 水道加入金及び工事検査手数料等について

### 1. 水道加入金 <加入金>

阿賀野市水道事業	
口 径	加入金の額
13mm	30,000円
20mm	70,000円
25mm	110,000円
40mm	300,000円
50mm	450,000円
75mm	1,000,000円
100mm	1,800,000円
150mm以上	管理者が別に定める額

\*1 水道加入金は上記の加入金の額に 100分の108 を乗じて得た金額とする。

\*2 安田地区において、口径30mmメーターは廃止となるため、改定後は40mmメーターとして取り扱います。

### 2. 設計の審査及び工事検査手数料 <検査手数料>

新設又は全面改造、一部改造工事に限らず工事費が **80,000円未満**の検査手数料は一律 **2,000円**とする。工事費が **80,000円以上**の検査手数料は、新設又は全面改造工事が **8,000円**、一部改造工事は **4,000円**とする。

\*分岐工事において断水を伴う場合は、5,000円を加えた検査手数料とする。

工 種	工事費 80,000円未満	工事費 80,000円以上
新設又は全面改造工事	2,000円	8,000円
一部改造工事	2,000円	4,000円
給水管分岐工事	断水を伴うもの	5,000円を加える

### 3. 水道加入金及び検査手数料の納入

水道加入金及び検査手数料は、給水装置工事申し込み時に納入する。

### 4. 給水装置工事事業者指定手数料 10,000円

## 給水装置工事申込みにあたり

1. 給水工事の申込み及び工事竣工台帳の提出は、上水道 維持係とする。
2. 給水工事の申込みにあたり、事前に維持係に協議連絡をする。(不在の場合があるため)
3. 給水工事の申込み後、工事内容に変更がある(メーター位置、工事種類等)場合は、事前に担当者へ報告し指示を受ける。  
報告なくして施工し、不備がある場合は、竣工後であっても工事のやり直しを求めることがある。
4. 検査手数料は工事費により異なるため、工事費を記入する。(総工事費)
5. 改造工事において、蛇口1栓でも残っている場合は一部改造とする。
6. 宅内にバルブ(第1止水)を取り付ける際、設置箇所が駐車場、乗り入れ等が考えられる場合は、別紙資料1とする。また、標準的な分水取出し配管図と配管材料は別紙資料2のとする。

## 申請書の主な内容説明

### 簡易給水装置工事申込書

- ・軽微な工事 (1) 新設、改造(全面)は対象としない。  
(2) パイプ10m以内、蛇口2栓以内の工事とする。

### 3階直結給水協議書

- ・3階直結給水装置工事の場合。(給水装置台帳提出前に事前協議が必要)

### 給水装置撤去申請書

- ・給水装置を撤去したい場合。(お客様と水道局用に2部提出)

### 水道メーター減径申請書

- ・水道メーターを減径する場合。(お客様と水道局用に2部提出)

### 既設管再使用確認書

- ・自家水道又は、貯水槽から上水道に切り替えるにあたり、既設管を使用したい場合。

### 給水装置工事変更、取消申請書

- ・工事の変更及び取消の場合。

### 確約書

- ・現在使用中のメーターとは異なる場所でメーターを使用し、1年以内に既設メーターの撤去を前提とする。

### 給水装置の臨時使用における加入金納入確約書

- ・臨時的に使用するもので、期間が180日を超える場合は加入金を納入すること。

※臨時水道使用料金の用途別について、臨時期間の180日を超える場合は加入金を納入するため、用途は「一般用」とする。加入金免除の対象となる臨時期間内の使用については、「臨時用」の料金表を適用する。

### 念書

- ・分岐承諾書 ・土地使用承諾書 ・水圧低下念書(必要により添付する)

- \* 各種申請書はCDにて貸し出しとする。(上水道室 維持係)
- \* 口座振替依頼書については、金融機関控と水道局控の提出とし、お客様控についてはお客様用として水道局への提出の必要はない。
- \* メーター出庫伝票の略図、位置図は詳細に示す。(メーターオフセット記入)
- \* 新設、改造(建替)工事の場合、申込み後に1/500の地形図を付けます。別紙資料3のとおり記入する。

# 製 図

## 1 基本事項

給水装置の製図は定められた文字、記号をもって作成するものとし、次の各号の通りとする、ただし一元化された PC 等(パーソナルコンピューター)で作成することもできる。

- (1) 文字は JIS Z8313 - 1984(製図に用いる文字)、PC においては明朝体を基調とする。
- (2) 使用する記号は表 1、表 2 及び表 3 に示す給水装置用記号による。
- (3) 製図に用いる単位は次による。

ア 長さはメートルの単位で少数点以下第 1 位まで記入し単位記号は付けない。

イ 口径はミリメートルの単位とし、単位記号は付けず寸法数値の前に  $\phi$  を記入する。  
ただし給水用具類は  $\phi$  13mm 以外を記入する。(例  $\phi$  20mm ボールタップ)

## 2 製 図

図面は位置図、止水栓・量水器位置図、平面図、立面図、断面図(取り出し工事を伴うもの)及び必要に応じて詳細図を作成するものとする。

### 2-1 位置図

- (1) 原則として北を上方とするが、やむを得ない場合は方位を明示して記入する事ができる。
- (2) 給水装置工事場所が容易に判断できるように、付近の目安となる建物、道路路線名、消火栓、仕切弁等を記入すること。
- (3) 給水装置工事場所を朱書きすること。
- (4) PC 作成では黒色実線で工事場所を輪郭で示し、引出線で申請個所を記入する。ただし朱書きでも良い。
- (5) 住宅地図のコピーを貼付でも良い。

### 2-2 止水栓・量水器位置図

- (1) 止水栓・量水器の位置を示すオフセットは公私境界、隣地境界、消火栓及び仕切弁等で 3 点以上を測量、記入する。(縮尺は  $S=1/20 \sim 1/50$  程度とする)

### 2-3 平面図

平面図の記入は次の各号のとおりとする。

- (1) 縮尺は  $S=1/100 \sim 1/200$  程度とし、方位を明示する。
- (2) 新設給水管の配管状況、取付器具
- (3) 被分岐管の管種及び口径
- (4) 道路の種別、幅員、歩車道の区分、私有地の境界、側溝等
- (5) 給水装置の分岐個所の位置を示すオフセット(公私境界、隣地境界、消火栓及び仕切弁等を基準点とする)を記入する。(3 点以上)
- (6) (2) について新設給水系統は青色実線、新設給湯系統は赤色実線、既設管については黒色破線で記入し、(3)(4) は黒色で記入する、また撤去管等については管自身の色の上に黒斜線を施すものとする。

- (7) PC作成では(2)について新設給水系統は黒色実線とし、新設給湯系統は黒色一点鎖線とする、既設管は黒色破線で記入する。

※ 湯水配管の記入については担当者から指示をします

- (8) 給水主管のみ使用材料、口径、延長は寸法線等を用い明示する。

- (9) 直結式給水装置の場合

ア 家屋図は全体の間取りを記入し、部屋名は水廻りのみでも良い。

イ 表示記号は次の6種類とする。

a. 水栓類 b. 湯水混合栓 c. 湯沸器 d. メーター e. 止水栓類 f. その他特殊器具

- (10) 貯水槽式の場合

ア 建物と受水槽との位置関係がはっきりわかるよう記入する。

イ 表示記号は原則として次の6種類とする。

a. 仕切弁 b. ボールタップ c. メーター d. 受水槽 e. 止水栓類 f. 流量調節器

## 2-4 立面図

立面図の記入は次の各号のとおりとする。

- (1) 縮尺に関係なく被分岐管に対して給水管を45°傾斜させて立体的に作図する。

- (2) 水栓名、アングル止水栓及び立上り管の口径、寸法、使用材料等を明確に記入する。  
また分岐部及びメーター周辺の使用材料についても同様に記入する。

- (3) 給水主管のみ使用材料、口径、延長を寸法線等を用い明示する。

- (4) 新設給水系統は青色実線、新設給湯系統は赤色実線、既設管については黒色破線で記入する。

※ 湯水配管の記入については担当者から指示をします

- (5) PC作成では新設給水系統は黒色実線とし、新設給湯系統は黒色一点鎖線、既設管については黒色破線とし、給水器具で新設、既設器具が混在する場合、(既設)を明示する。

- (6) 湯沸器はメーカー名、型式番号、性能(相当号数)及び構造上の分類を以下のとおりに省略して記入する。

瞬間湯沸器(瞬)          貯湯湯沸器(貯)          循環式瞬間湯沸器(循)

- (7) 直結式給水装置の場合

表示記号は原則として次の8種類とする。

a. 水栓類 b. ボールタップ c. 水栓柱 d. 湯水混合水栓 e. 湯沸器 f. メーター  
g. 止水栓類 h. その他特殊器具

※ メーターから下流のフレキシブル継手は省略する

- (8) 貯水槽式の場合

表示記号は原則として次の8種類とする。

a. 仕切弁 b. ボールタップ c. メーター d. 貯水槽 e. 止水栓類 f. 定水位弁  
g. 水撃防止器 h. 流量調整弁

## 2-5 給水用具名

給水器具名は以下のとおりに統一して記入するものとする。

アングルバルブ	————→	アングル
逆止弁付ボール止水栓	————→	逆ボ弁
開閉栓防止式止水栓	————→	丙止水栓（防）
逆止弁付開閉栓防止式止水栓	————→	丙止水栓（逆・防）
フラッシュバルブ	————→	フラッシュ
真空破壊装置	————→	バキュームブレーカー
自動販売機	————→	自販機（品名記入）
給水管付き止水栓	————→	ストレート止水栓
ウォーターハンマー防止器	————→	水撃防止器
エア弁	————→	空気弁
器具ユニット	————→	器ユ
配管ユニット	————→	配ユ
設備ユニット	————→	設ユ


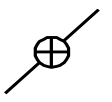





※ それぞれユニットを  で囲み名称を明示する

## 2-6 変更工事における撤去図の記載方法

- (1) 引き込み替えを伴う全面変更工事はメーターまで記入し、メーター下流の給水装置の撤去記載は省略する。
- (2) 引き込み替えを伴わない全面変更工事で撤去される給水装置の記載は省略する。
- (3) 新設と撤去を別々に記載しない。

## 2-7 給水装置記号

表 - 1 直結方式

名 称	平面図の記号	立面図の記号	適 用
サドル付分水栓	省 略	省 略	立面図に名称・口径を記入
止 水 栓			<ul style="list-style-type: none"> <li>・φ25mm以下の第1止水栓。</li> <li>・その他、必要に応じ設置した場合</li> </ul>
フレキシブル管	省 略		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サドル付分水栓と接続する場合立面図に名称、口径を記入</li> </ul>
丙 止 水 栓 メ ー タ ー			<ul style="list-style-type: none"> <li>・止水栓・メーター口径を記入</li> </ul>
仕 切 弁 コック・ボールバルブ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・立面図に名称、口径を記入</li> </ul>

単 独 水 栓			・立面図に名称、口径を記入	
洗 浄 管			・立面図に名称、口径を記入 (大便、小便フラッシュバルブ等)	
ロータンク・ボールタ ップ			・立面図に名称、口径を記入	
水 洗 柱 不 凍 栓			・立面図に名称、口径を記入	
湯水混合水栓 ハンドシャワー付 湯水混合水栓			・立面図に名称、口径を記入	
特 殊 給 水 器 具 類	湯 沸 器			・立面図に名称、品名を記入 (メーカー名、型式番号、 性能及び構造(瞬)(貯)等)
	上がり湯用瞬間湯沸付風呂釜 製 氷 器 ウォータークーラー 自動販売機 食器洗い器 自動うがい器 太陽熱集熱器 冷 温 水 器 解 凍 庫 暖 房 器 給水用加圧装置 浄水器(I、II型) 歯科用ユニットバルブ 直結型便器			・立面図に名称、品名、口径を 記入
ユニット化装置 (器ユ、配ユ、設ユ)		ハンドシャワー付 混合水栓 混合水栓 	・平面図に一体化を破線で 囲む ・立面図に名称、品名、口径を 記入	
不凍水抜き栓	省 略		・立面図に名称、口径を記入	










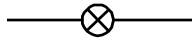






減 圧 弁	省 略		・立面図に名称、口径を記入
逃 し 弁	省 略		・立面図に名称、口径を記入
ミキシングバルブ	省 略		・立面図に名称、口径を記入
ア ン グ ル	省 略		・立面図に名称、口径を記入
ストレート止水栓	省 略		・立面図に名称、口径を記入
逆 ボ 弁	省 略		・立面図に名称、口径を記入
空 気 弁	省 略		・立面図に名称、口径を記入

表 - 2 受水槽方式

名 称	平面図の記号	立面図の記号	適 用
サドル付分水栓	省 略	省 略	立面図に名称・口径を記入
止 水 栓			・φ25mm以下の第1止水栓 ・その他、必要に応じ設置した場合
フレキシブル管	省 略		・サドル付分水栓と接続する場合立面図に名称、口径を記入
丙 止 水 栓 メ ー タ ー			・止水栓・メーター口径を記入
仕 切 弁 コック・ボールバルブ			・立面図に名称、口径を記入

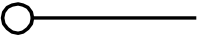

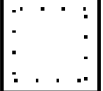
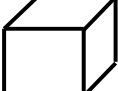
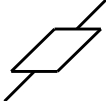

ボールタップ			・立面図に名称、口径を記入
受水槽			
定水位弁 電磁弁、電動弁、 流量調整器	省略		・立面図に名称、品名、口径を記入
水撃防止器 空気弁 バキュームブレーカー	省略		・立面図に名称、品名、口径を記入

表 - 2 管類の表示

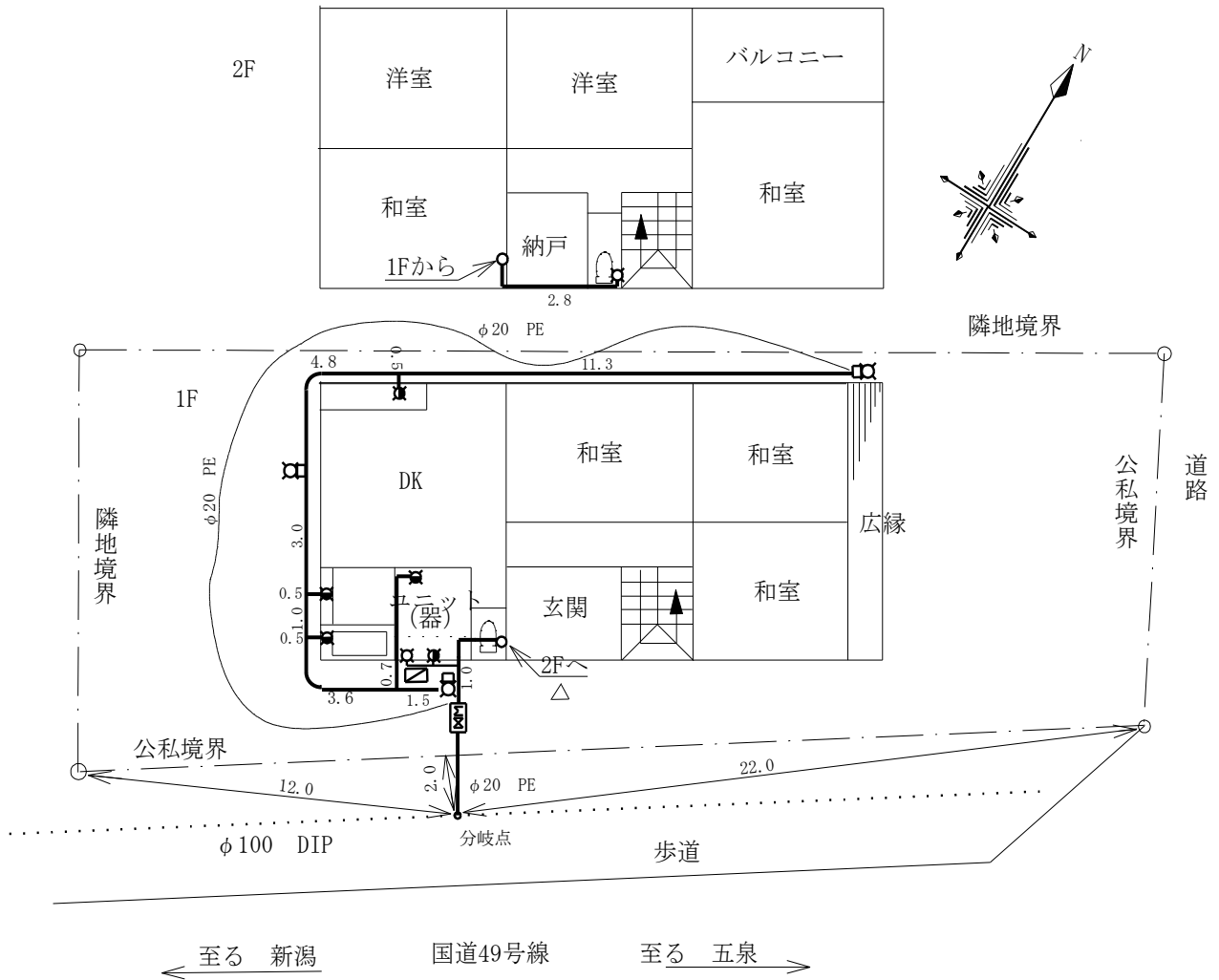
管 種	表 示	摘 要
ダクタイル鋳鉄管 DIP (A、K)	$\phi 150$ DIP —————	既設管 (黒色)
鋳 鉄 管 CIP	$\phi 150$ CIP —————	既設管 (黒色)
石綿セメント管 ACP	$\phi 150$ ACP —————	既設管 (黒色)
ポリエチレン粉体ライニング鋼管 SGP-PB	$\phi 50$ SGP-PB —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
ポリエチレン粉体ライニング鋼管 SGP-PD	$\phi 50$ SGP-PD —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
硬質塩化ビニールライニング鋼管 SGP-VB	$\phi 50$ SGP-VB —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
硬質塩化ビニールライニング鋼管 SGP-VD	$\phi 50$ SGP-VD —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
ステンレス鋼管 SSP	$\phi 50$ SSP —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
硬質塩化ビニール管 VP	$\phi 20$ VP —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
耐衝撃性硬質塩化ビニール管 HIVP	$\phi 20$ HIVP —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
ポリエチレン管 (二層管) PE	$\phi 20$ PE —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
被覆ポリエチレン管 PE	$\phi 20$ PE 被覆 —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色

架橋ポリエチレン管 XPEP	$\phi 20$ XPEP —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
ポリブテン管 PBP	$\phi 20$ PBP —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
鋼管 CP	$\phi 20$ CP —————	新設管(給水系統は青色、給湯系統は赤色)、既設管は黒色
各種撤去管	$\phi 20$ VP 撤去 //////	文字、数字、斜線は黒色で記入する

製図要領例

平面図

施工平面図 S=1/200



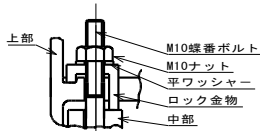
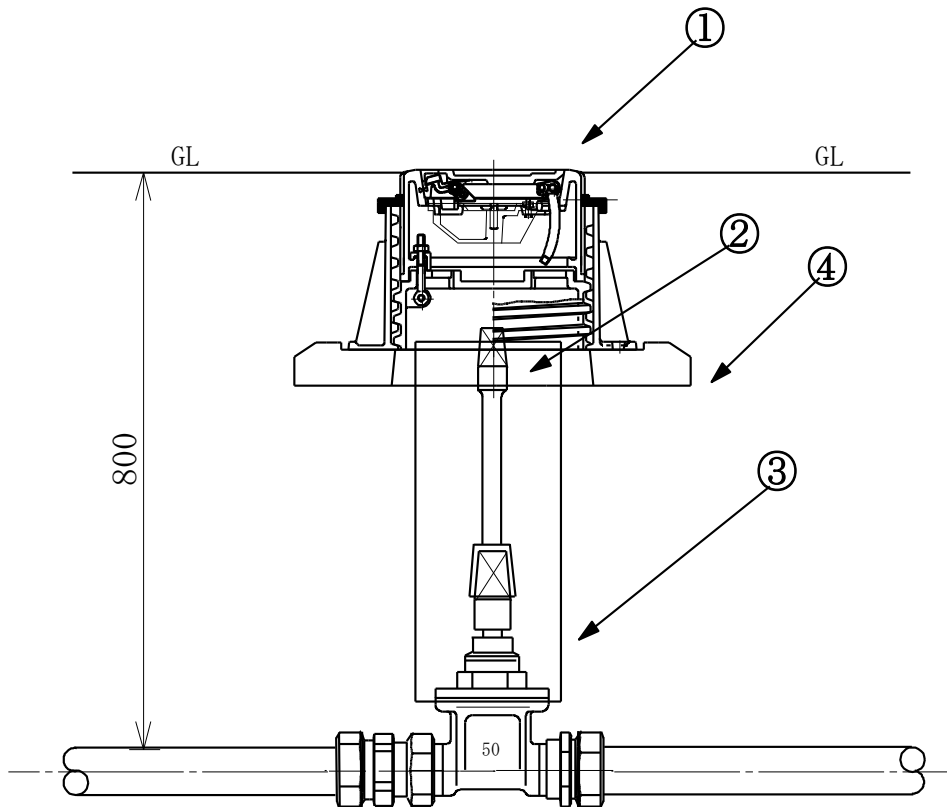
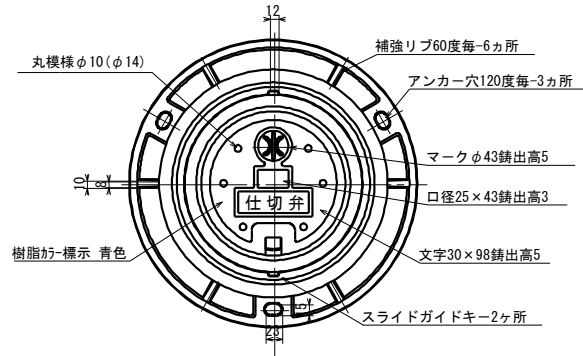
※ 地形図、家屋図は実線（細線）で施工箇所は実線（太線）で記入する。



別紙資料 1

仕切弁（宅内バルブ）設置標準図

※駐車場予定地・車の乗り入れが考えられる場合



ロック部拡大図

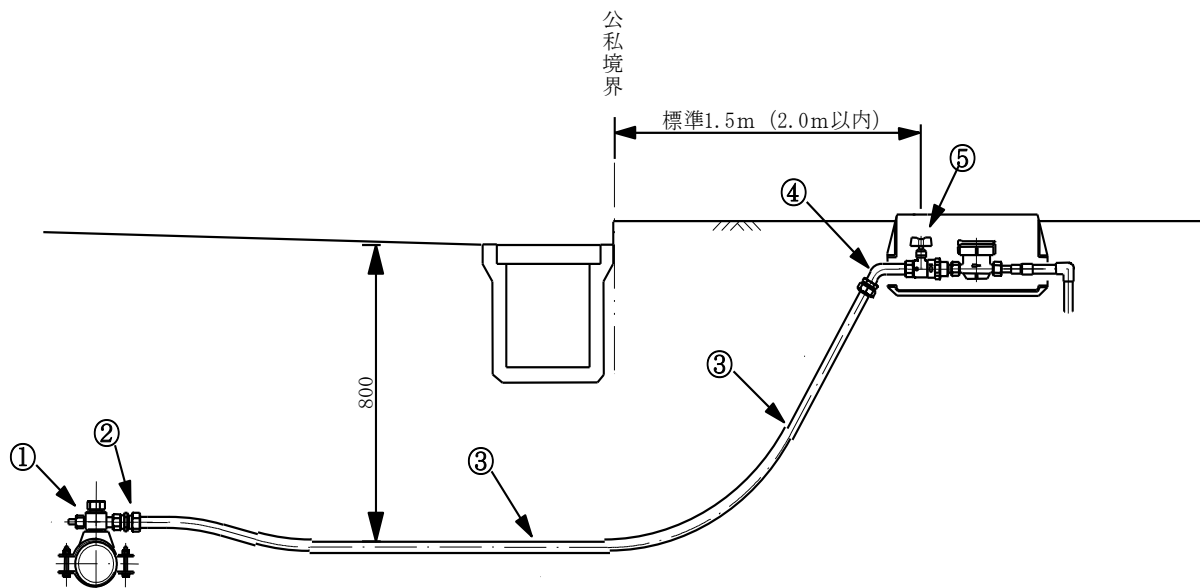
No.	品名	呼び径	備考
①	仕切弁管		LJV2TD-53HK
②	仕切弁継足棒		L=300~500
③	VU管	200	
④	座台		THP-11

※ ①のカラー表示について  
 青…本管、給水管用 赤…消火栓用 緑…トイレ用

標準的な分水取出し配管図と配管材料

標準的な配管方法は、下記のとおりとする。

配水管から給水管を単独に分岐する場合（量水器口径 13～25mmの施工標準図）



No.	品名	呼び径	備考
①	サドル付分水栓	20	阿賀野市仕様
②	PE継手 分止水栓用	20	回転式
③	ポリエチレン管	20	I種管
④	PE継手 Lベンド60°	20	
⑤	逆止弁付開閉防止型丙止水栓	20×13	阿賀野市仕様

- ※ メーターの前後はメーター口径の1つ上の口径で施工できる。  
水道メーターは道路近く（公私境界付近）の検針しやすい場所に設置し、メーターボックス内の砂の敷詰めは行わない。  
またメーター付近に磁気活水器を設置する場合は磁気漏洩防止を講じた後、水道メーターから50cm以上離して設置する。
- ※ 新設時は逆流防止機能のある開閉防止型丙止水栓を取付ける。  
又改造工事においてメーター周辺の工事がある場合、逆流防止機能のある開閉防止型丙止水栓に取替える。  
量水器口径13mmでは、丙止水栓口径φ20×13mmが標準仕様です。  
また改造工事において、水道メーターを道路から2m以内に移動する時は併せて甲止水栓の撤去工事を行う。
- ※ 公道部においては管標識テープ（アルミ入り）を埋設する。  
推進布設部分において管標識テープの埋設は必要が無いものとしますが立坑など開削部分は管標識テープを埋設する。

標準的な配管材料は、下記のとおりとする。

配管材料

名 称	品 名	形状・寸法	適用規格
分岐器具	サドル付分水栓	取出し径 20A 形 ボール式、内面粉体、 コア(密着タイプ)、ネジ継手	JWWA B117 又は日本 水道協会検査合格証 の有するもの。
管 種	ポリエチレン管	φ 20、I 種管(二層管)	JIS K6762
継手類	PE 継手 分止水栓用	φ 20 (回転式)	JWWA B116
	PE 継手 L ベンド 60°	φ 20	JWWA B116
止水器具	丙止水栓	ボール式、開閉防止型 弁体テフロン加工、逆止弁付 φ 20×13、φ 20	BLS-TC・T (株)タブチ NTC-NPC (株)日邦バルブ
覆 類	メーター筐	蓋 (FRP) 枠(強化プラスチック)	NCP20 日之出水道 MB-20SF 前澤化成 M-20L 三国プラスチック

※ 必要に応じフレキシブル継手を使用する。

指定給水器具製造メーカー一覧

品 名	指 定 メ ー カ ー
サドル付分水栓 止水栓 ( 甲 )	前沢給装工業(株) 日邦バルブ(株) 栗本商事(株) 北沢バルブ(株) (株) タブチ (株) 柿崎機械
丙止水栓	(株) タブチ (株) 日邦バルブ
ビニール管類 継手類	久保田鉄工(株) 清水化学(株) 三菱樹脂(株) アロン化成(株) コスモ工機(株) 大成機工(株)
弁・仕切弁類	前沢給装工業(株) 日邦バルブ(株) 北沢バルブ(株) 前澤工業(株) 久保田鉄工(株) 栗本商事(株) 清水製作所(株) 清水合金製作所(株) 宮部鉄工(株)
石綿管継手類 铸铁管類 継手類	久保田鉄工(株) 積水化学(株) 三菱樹脂(株) アロン化成(株) コスモ工機(株) 大成機工(株)
筐 類	日之出水道機器(株) トミス(株) (有)高坂铸铁所 前澤化成工業(株) 川彦(株) 三国プラスチック(株)